

黒埼町の今昔

町史編さん課

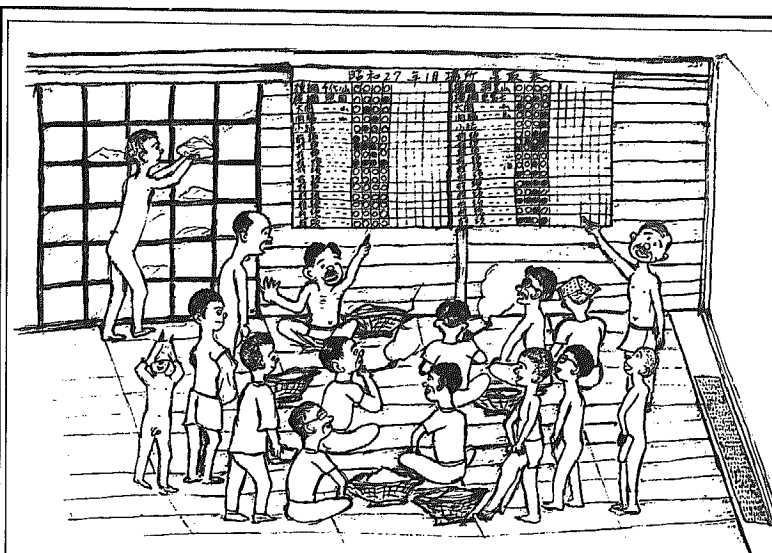
黒埼町の風呂屋七

相撲の星取り表を張り出すな

ど「鶴の湯」のユニークな試み。

「鶴の湯」の主人の宗村卯一さんはいろいろなエピソードのある人物で、若いころは海軍相撲で鍛え、除隊後「だるま山」のしこ名で近隣の相撲大会に出場し活躍した。

◆星取り表を張りだす
昭和二十七年一月十二日の朝、「鶴の湯」の男子脱衣場に大洋紙を二枚つないだ大相撲の星取り表が張られた。卯一さんが、相撲好きの友



男湯の脱衣場に張り出された星取り表。ひげをはやし、表を指さしている男の人が箱田四郎平さん。

人で近郷草相撲の名行司として知られた箱田四郎平さん(七区)の箱田四郎平さんと考えて作ったものだった。当時、東京大相撲はまだ春場所(一月)と夏場所(五月)との年二場所制でその日は春場所初日だった。千代ノ山、羽黒山、東富士、照国の四横綱が活躍していた時代だった。町の人たちがようやく敗戦の虚脱状態から立ち直り始めたばかりのころで、もちろんテレビはまだなく、娯楽と言えぬものはほとんど皆無だった。それで、戦後すぐに始まった年二回の大相撲はこの村、町でも多くのファンを集めていた。だから、星取り表は「鶴の湯」の男性客に非常に好評だった。

た。そして、ラジオからの一番、一番の勝敗を真剣に聞き取り、取り組み表に記入するとすぐに「鶴の湯」へ持っていった。脱衣場の星取り表に記入するのは「鶴の湯」の人たちの役目だった。箱田さんの娘よし子さんが嫁いでいたので、しゅうとの卯一さんとよく記入したということである。また、箱田さんは相撲字が上手だったので、その日の好取り組みの一番ずつを必ず何枚かの半紙に書いて脱衣場に張りだし、ファンに喜ばれたということである。

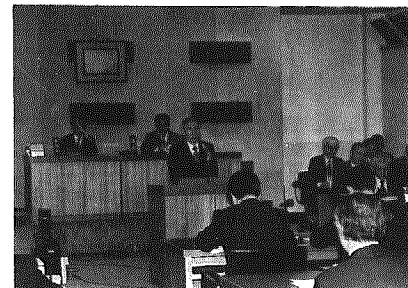
一月二十七日には、早くも「鶴の湯」は営業を開始したのである。類焼後、わずか二か月足らずという驚異的な速さだった。こんなに早く営業を再開できたのは次のような訳があった。昭和三十年十月一日、新潟大火で焼けた富士銀行の新社屋がこのころ完成し、火事の直後に建てられた建物が必要なくなったのを譲り受け、それをほぼそのままに建てられたのである。また、「鶴の湯」の嫁よし子さんの実家の父、箱田四郎平さんが、工事が始まると自分の仕事そつちのので、「鶴の湯」の工事現場に来てつきっきりで大工さんたちを監督していたのも、早く出来た要因だったと言った。

この講座は三十三年半ばころから一年ほど続けられた。「新潟県展望」紙昭和三十三年二月五日号に「風呂場で教養講座」との見出しで記事が載っている。奇特なお湯や有名な大野町二ノ丁の公衆浴場「鶴の湯」は宗村卯一氏の経営であるが、氏はかつて報徳精神普及に尽された人で、電休日を利用して浴場を開放新大教授を講師に招き、風呂屋のサービスとして教養講座を開くなど町では話題にのぼっている。しかし、次第に聴衆が少なくなり、間もなく取り止めた。取材協力・宗村喜介、宗村久、宗村奎助、浅妻よし子(敬称略) 執筆・宮田栄門

町長改選後、初の議会を開く

「大喪の礼」による休日」などを審議可決

町長選挙・町議会議員補欠選挙後、最初の議会臨時会が2月16日(木)、役場議場で開かれました。臨時議会の冒頭で、今回の選挙で新たに選ばれた浅妻新町長と内藤隆議員があいさつしました。



今回の臨時議会では、大喪の礼の行われる日を休日とする条例の制定など2議案を審議・可決したほか、新たに補欠選挙で町会議員に選ばれた内藤隆議員が所属する常任委員会、特別委員会が決められました。

議案

■専決処分承認(議案第1号) 黒埼町税条例の一部を改正する条例を専決処分により制定したのを承認した。
■黒埼町職員の休日の特例を定める条例の制定(2) 昭和天皇の大喪の礼の行われる日を休日とする法律により、大喪の礼の行われる日(2月24日)を休日とするために

制定された。
■常任委員会の委員の選任について(黒議選第1号) 内藤隆議員が総務文教委員会の委員に選任された。
■特別委員会の委員の選任について(黒議選2) 内藤隆議員が農村総合整備モデル事業推進特別委員会、観光物産センター対策特別委員会の委員に選任された。

ぬいぐるみと交通安全を学ぶ

春の交通安全巡回指導

町では町内の各保育所を巡回して交通安全指導を行っていきます。子供たちの活動が活発になる春を迎え、子供たちが交通事故に遭わないようにと、実施するものです。2月22日(水)は立仏保育所で行われました。パンダのぬいぐるみと新潟西警察署の婦警さんが登場、子供たちと話を

かわしながら、道路の安全な歩き方を指導しました。なお、町内の他の保育所、保育園でも三月半ばまでに巡回指導が実施されます。

2月23日(木)、老人憩いの家「黒埼荘」で、木場老人会の皆さん約百人を対象に交通安全指導教室を開きました。保育所で活躍したパンダのぬいぐるみも登場、交通安全スゴロクで交通ルールを学びました。また、佐藤益治さん(木場・七〇歳)が「炭鉱節」の節でつくった交通安全の替え歌を披露、その後、みんな

で歌いました。今年に入ってから2月22日までの黒埼町の交通事故件数は16件(昨年は19件)。幸い死者はありませんでしたが、傷者は17人(昨年は死者なし、傷者21人)。今年も暖冬のせいか自転車の事故が目立っているようです。自転車で乗るときも交通ルールは正しく守りましょう。(総務課交通安全対策室)

短 信

- 1月15日～2月15日
- ▶1月15日町長選挙・町議会議員補欠選挙の立候補予定者説明会(役場議場、選挙管理委員会) ▶17日ふるさと村取締役会(新潟市、町長出席) ▶19日信濃川中の口川治水事業促進協議会(三条市、町長出席) 入札(総務課) ▶20日都市計画審議会(企画開発課) ▶23日農業振興協議会(農政課) ▶24日民協定例会(民生委員) ▶27日農業委員会 ▶31日町長選挙・町議会議員補欠選挙告示、立候補届出日 ▶2月5日町長選挙・町議会議員補欠選挙投票日 ▶6日町長選挙・町議会議員補欠選挙当選証書交付式(役場議場、選挙管理委員会) ▶7日夜の町長室 ▶10日新町長への事務引継ぎ ▶13日浅妻新町長初登庁

助役・収入役が退任

富岡助役、鷲尾収入役の両氏が、2月12日付けで退任された。

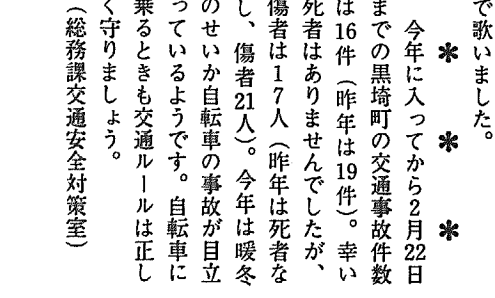
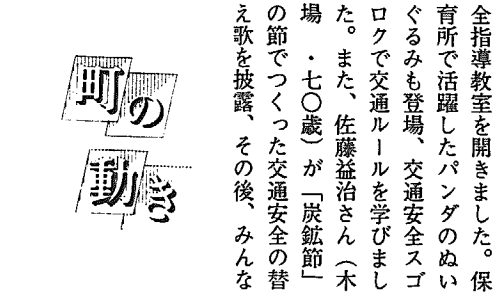
富岡 一久 前助役 鷲尾 忠資 前収入役

昭和61年10月24日に助役に就任しました。

昭和62年4月1日に収入役に就任しました。

(大野二ノ町 57歳)

(黒鳥5番 56歳)



私たちの一年の成果

第4回公民館作品展

●3月18日(土)、19日(日)

●北部地区公民館

音楽発表会

開催日 ●3月19日(日)

開場時間 ●午前10時30分

演奏場所 ●北部地区公民館

※多数のご来場をお待ちしております。